

発表タイトル	蔵書印データベース(α版)
発表者所属名	日本文学研究専攻・国文学研究資料館
発表者氏名	青田寿美
発表内容	
<p>1. 経緯と目的</p> <p>「日本文学関連電子資料の構成・利用の研究」プロジェクトの一環として 国文学研究資料館発信の、蔵書印に関する調査研究の高度活用に向けて</p> <p>2. サーチエンジンとしての蔵書印 DB</p> <p>印文も蔵書印主もわからない蔵書印の検索</p> <p>■ 印文を読解する ■ 印影を見る ■ 印主情報・蔵書情報を得る</p> <p>採取データ</p> <p>人物 DB・人物 ID:<i>person_id</i> 蔵書印主:<i>stamp_owner</i> よみ:<i>reading</i> 人物情報:<i>author_id</i> 印影 DB・蔵書印 ID:<i>stamp_id</i> 蔵書印:<i>stamp_content</i> 画像:<i>stamp_image</i> 陰陽:<i>posi_nega</i> サイズ(縦×横):<i>size</i> 色:<i>color</i> 形状:<i>form</i> 典拠資料:<i>authority_record</i> 備考(ページ数):<i>remarks</i> 典籍 DB・典籍 ID:<i>id</i> 書名:<i>name</i> 著者:<i>author</i> 刊記:<i>publication</i> 請求記号:<i>call_mark</i> 所蔵先:<i>collector</i></p> <p>3. データマイニングツールとしての蔵書印 DB</p> <p>期待される学際的研究成果</p> <p>■ 同一印影(同一印主)の蔵書を知る ■ 資料の変遷(流通過程・譲渡関係等)を明らかにする ■ 散逸した蔵書群の一斑を窺い知る他、史実考証・時代考証の便にも</p> <p>既存の DB との連携による、より高次の検索の可能性／諸領域研究への架橋</p>	